

<p>【イベント名】 第45回 APAN 会議 ポータブルヘルスクリニック</p>	<p>【概要】 ポータブルヘルスクリニック (PHC) システムは開発途上国内で医療が行き届いていない地域に良質な医療を確保するための遠隔医療システムとして開発された。このシステムは現在カンボジア、インド、リベリア、パキスタンで使用されている。第45回APAN会議はPHCシステムを紹介し、その他の本システムを必要とする国々をつなぐ素晴らしい機会であった。非常に良い反応を得ることができ、ネパール、フィリピン、台湾を含む新しい協力者からこのシステムへの要望があった。近い将来、これらの国々でPHCサービスを使えるようになることを心待ちにしている。</p>
<p>【期日】 2018.03.28</p>	
<p>【会場】 バイオポリス マトリックス会議場 (シンガポール), 九州大学東京オフィス (日本), グラミン・コミュニケーションズ (バングラデシュ), ビヤニ大学 (インド), フィリピン国連人口基金事務所 (フィリピン), 中国疾病予防管理センター (中国), 九州大学病院 (日本)</p>	



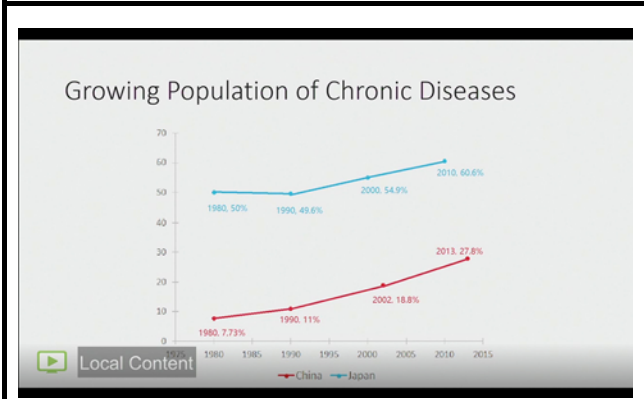
本セッションの主催者Prof. Maruf.

撮影場所：九州大学病院



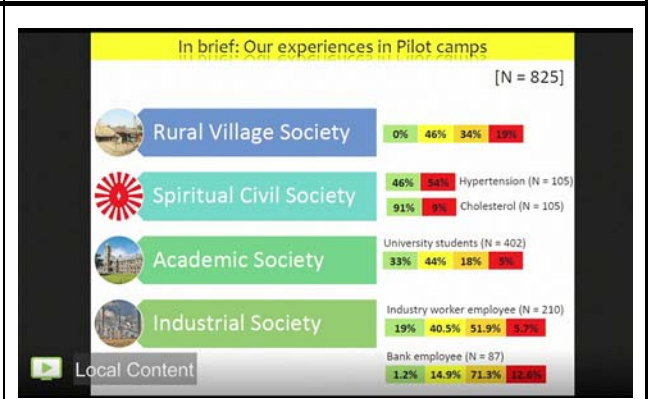
発表する九州大学病院のProf.菊池。

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院



メイン会場の様子。

撮影場所：バイオポリス マトリックス会議場



会場モデレーターを務めたProf.中島。

撮影場所：バイオポリス マトリックス会議場